

「川の日」記念行事

(since1998, 通算 22 回)

第12回 “いい川”・“いい川づくり”ワークショップ in 滋賀・京都

日本の “いい川・いい川づくり” 募集!!

7月7日「川の日」の記念行事の一つとして全国の川や水環境に関する市民、行政に呼びかけスタートした「川の日」ワークショップは、第10回大会を経て「“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ」として新たに歩み出し、通算22回目の開催となりました。過去21回の大会で応募数はのべ1159件となっています。

川は、生きものを育み、地域や私たちの暮らしを支えてきた、かけがえのないものです。この大会は、私たちがめざす川や水辺はどんな姿なのか、私たちにあって“いい川・水辺”とはどんなことなのか、自由に柔軟に探っていくと、各地で活躍する市民・住民・行政に呼びかけ1998年に始まりました。これこそ“いい川”・“いい川づくり”という事例や取り組み、思いを持ち寄り、その目的、取り組みを発表、議論することにより、少しでも“いい川・いい川づくり”のビジョン、イメージの共有につながれば、やがては日本中に個性豊かな愛着の持てる川や水辺が出現するとの思いからです。

回を重ねるなかで、身近な川から流域全体、全国規模の取り組みまで、また、湖沼や用水、湿地、海浜といったさまざまな水辺、下水道や雨水の分野、水循環など、対象とする領域やテーマを広げてきました。

そして、22回目となる今大会は、滋賀・京都において開催します。地域、世代を越えたさまざまな人たちが一堂に会し、2日間にわたる驚きと感動にあふれた公開選考会と交流が行なわれます。

みなさんの自慢の“いい川”・“いい川づくり”を持って、是非、ご参加下さい。



- 日時：2019年10月5日(土) 11:00～18:15 18:45より交流懇親会
6日(日) 9:00～15:30 *時間は予定です

*10月4日(金) 「水」がつなぐ滋賀と京都をめぐる現地見学会(希望者、事前申込制)

- 会場：(10/5) ピアザ淡海(滋賀県立県民交流センター)(滋賀県大津市におの浜 1-1-20)
(10/6) コラボしが21(滋賀県大津市打出浜 2-1)

※ピアザ淡海：JR「膳所(せせ)駅」から徒歩約12分、「京阪膳所駅」より京阪電車1駅「石場駅」から徒歩約5分

※コラボしが21：JR「膳所駅」から徒歩約15分、「京阪膳所駅」より京阪電車「石場駅」から徒歩約3分

- ・主催：いい川・いい川づくり実行委員会 実行委員長 宮口 侗 他約100名
いい川・いい川づくりワークショップ琵琶湖淀川水系大会 in 京滋 現地実行委員会
- ・後援(予定)：国土交通省、滋賀県、滋賀県河港・砂防協会、マザーレイクフォーラム運営委員会ほか

“いい川”・“いい川づくり”ワークショップとは？

- 全体会場での全応募者による発表に始まり、テーマ別のテーブル選考、復活選考、会場からの意見も交えて行なわれる全体選考会のプログラムは、2日間にわたり全てオープンに行われます。
- 各選考は実行委員会からそれぞれ選出された選考員(市民、行政、学識者など)が行います。選考の視点、評価のポイントは次のように考えています。
 - ◆川の「タカラモノ」に光を当て、“いい川”“いい川づくり”とは何かを探ります。
 - ◆内容の長所を評価する加点方式とし、短所は減点の対象としません。
 - ◆公開選考会は、おおよそ以下の4つのカテゴリーにおいて総合評価します。
 - 発想・着眼評価：“いい川”をめざすための斬新な発想や着眼、的確な視点についての評価
 - 関わり評価：地域住民と川との豊かで良好な関わり合いについての評価
 - プロセス評価：“いい川”を育むための市民・住民参加や、様々な分野の人達との協働のプロセスについての評価
 - 計画・技術評価：川らしさの保全や“いい川”回復のために工夫された計画手法、施工技術等についての評価や“いい川”を実現した技術に対し選考を行います。
- 応募者は、規定のプレゼンテーション用パネルを用意し、自由な表現方法で発表、アピールします。1件3分という限られた時間の中で、工夫を凝らし熱のこもった発表が毎回繰り広げられています。日頃の取り組みを発表すること、そして意見交換、参加者との交流を通じて、新たな発見、取り組みのエネルギーをつかみます。
- 選考は優劣を決めるものではありません。2日間を通じた合意の深まり、学びあいの成果として、グランプリや入賞を選びます。入賞者には、実行委員会よりオリジナルの表彰状や副賞を贈呈し、成果を讃えます。

第12回「いい川」・「いい川づくり」ワークショップin 滋賀・京都

【大会概要】

※プログラムの詳細、時間等は、多少変更する場合があります。

☆10月4日(金) エクスカーション 現地実行委員会 企画・運営

～「水」がつながる滋賀と京都、「琵琶湖疏水」を楽しむ現地見学会～(選べる3つの企画)

*参加費(保険代など):各企画 ひとり500円(予定)、定員:60名(事前申込制、複数の企画に参加可能)

※ワークショップ参加者から希望者募集。詳しくは、別途チラシ、大会ホームページをご覧ください。

10月5日(土) 11:00開会 ～18:15 ・会場:ピアザ淡海(滋賀県県民交流センター)

☆実行委員会(10:20～10:50) ※実行委員のみ 受付9:45～

(応募者・一般受付 10:20～)

全体集会

・11:00開会(全体会場)

・ワークショップの考え方や進め方等を共有します。

全体発表会

(全応募団体の発表)

・全体会場での全応募団体の発表会。

・大まかなテーマであらかじめ分けられたグループの順に従い、1件につき3分間で、続けて発表のみを行います。

グループ別
テーブル選考

・全体発表会での発表の後、テーマが共通するグループに分かれ、それぞれの会場(テーブル)で発表者、一般参加者を交えて議論します。

・各テーブルで議論の後、全体選考に各テーブルから1～2件を推薦(入選)します。

全体集会

・テーブル選考の結果報告

・韓国からの参加者による発表

・ミニシンポジウム:地域の課題など1つのテーマについて会場全体で討論します。

(1日目終了)

交流懇親会

18:45～ ・会場(予定):ピアザ淡海 大会議室

・2日目の選考に向けたアピールを兼ねた交流懇談会 ※事前申込み・会費制

・川の恵み交流会(各地の名産を持ち寄り交歓します)

10月6日(日) 9:15～15:30閉会 ・会場:コラボしが21

復活選考

・前日のテーブル選考で選外になった団体から、新たな視点で復活させる目的で、ポスターセッション形式による追加推薦を投票で行ないます。復活推薦された団体は、入選者として、発表、全体選考の対象に加わることができます

入選者発表会

・テーブル選考と復活選考で推薦された団体(入選)による発表会(3分/件、発表のみ)。

公開討論による
全体選考

・二部構成の選考と討論のなかから、グランプリほか各賞の絞込みの議論を通じて、新たな「いい川」・「いい川づくり」を発見し評価していきます。

講評・表彰

・グランプリ、準グランプリなどの表彰

・特別賞(広松伝賞、森清和賞、「いい川」技術賞など)の表彰と講評



「川の日」記念行事「第12回「いい川」・「いい川づくり」ワークショップin 滋賀・京都」は、「川の日」実行委員会の助成を受けています。

◆ 応募の方法

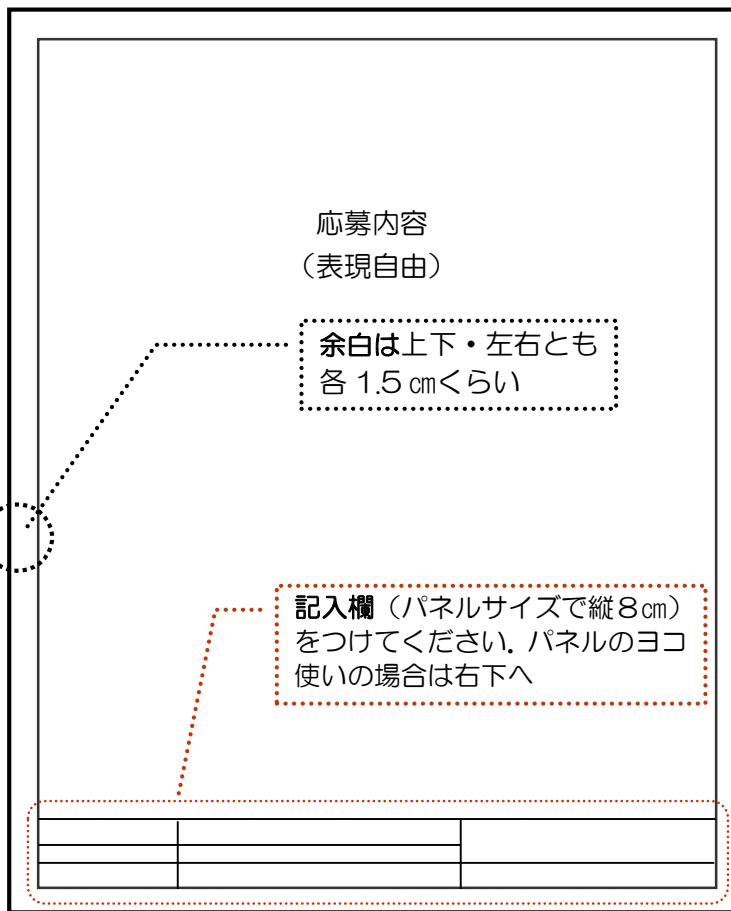
※プログラム等の都合上、30 件を目安に募集します。応募の締め切り前でも定数に達した時点で締め切る場合がありますので、お早めにお申込み下さい。下記 1. 2. 4. は、メールでの送付を歓迎します。

1. 応募申込書（様式 1） ⇒ 8月31日まで ※別紙、ホームページからも Word 文書をダウンロードできます
：選考用の手元資料原稿として使用します。内容については分かる範囲で記入してください。応募者欄は、代表者か発表予定者を記入してください。
2. パネルの縮小版（様式 2）※下記参照 ⇒ 9月9日まで（必着）
：応募申込書（様式 1）とともに選考用の手元資料の原稿として印刷（A4 サイズ・モノクロ）、配布します。実際のパネルとの多少の変更は構いません。
3. 発表用パネル（様式 2）※下記参照 ⇒ 当日持参、または事前に送付。
：下記参照、事前に送付される場合は、必ず事務局までご連絡ください。※会場には直接送れません
4. 水辺の風景や状況、活動の様子などの写真（1 点か 2 点）⇒ 応募申込書か縮小版とともに送付
：事前にエントリー団体の概要とともに大会ホームページで紹介します。また、当日発表時に会場全体でその川のイメージを共有するための写真をスクリーンに表示します。ホームページ用は、活動等の様子が分かる写真でも構いませんが、スクリーン表示用の写真は、水辺全体の雰囲気分かるような写真（文字なし）をお送りください。※デジタル、プリントどちらも可。返却が必要な場合は予めお知らせください。

※別項「発表の方法」もあわせてよくご確認ください！

様式 2 【発表用パネル・パネル縮小版（資料印刷原稿）】について

・パネル実物は A 1（59×84cm）サイズ、パネル縮小版は A4 サイズ、（タテ・ヨコ使いとも可）



■発表用パネル（A1サイズ）

- ・所定の記入欄以外は、写真や図表、イラストのほか、さまざまな材料を用いた立体的なものも可能です。こだわらず自由に表現してください。
- ・発表では複数のパネルを使用できますが、展示・投票用としてメインのパネル1点を決めておいてください。
- ・会期中、パネルは各会場に立てかけて展示します。フレーム、発砲スチロール、厚紙等、形状は自由ですが、まっすぐ立てかけられる強度になるよう工夫して下さい。持ち運びやすいよう二つ折りなども可（設置するためのスタンド等はこちらで用意します）。

■パネルの縮小版（A4サイズ）

- ・手元資料（冊子）の印刷（モノクロ）原稿として使用します。実際のパネルとの多少の変更可。

■共通事項

- ・余白は、上下・左右とも各 1.5 cm 位
- ・「記入欄」をつけてください。

記入欄：拡大図（縮小版では原寸程度）

ふりがな 川や水辺の名称	(水系)	活動や事業の名称または応募に当たってのテーマ
所在地	県 市町村	
応募者名(ふりがな) 所属団体名		(記入不要) エントリーNo.

◇ 発表の方法 ※別項「応募の方法」もあわせてよくご確認ください！

- 発表用パネル(A1 サイズ、必須)のほか、選考の各過程を想定してご準備ください。配布資料等を当日持ってくることもできます。

選考会 1 日目 (10/5・土)：全体発表会及びテーマ別テーブル選考（一次選考）

- 応募申込書(様式 1)の「主に発表したいこと」等の内容を参考に、大まかなテーマで事務局によりグルーピングします。
- テーブル選考に先立ち、全体会場のステージで、全応募者による発表会を行ないます。発表時間は各3分で、発表のみを行います。発表者は複数名でもかまいません。質疑等は、全体発表会の後に行うテーブル選考で行います。
- 発表では、制限時間内であれば表現方法は自由です。音楽や映像等も使用できますが、映像は水辺の状況や活動の様子、技術の内容など全体のイメージやアピールしたいこと伝えるための写真等 3 点まで(パワーポイントならスライド 3 枚、静止画のみ)とします。
- ただし、パワーポイント等に頼らないユニークな表現や、アピールしたい事を効果的に強調する創造的な工夫は、このワークショップでの大きな評価ポイントの一つになります。
- それぞれの川や水辺の全体のイメージを会場全体で共有するため、それぞれの発表中にその水辺の風景写真を1団体につき1点、映写します(発表者が使うスクリーンとは別のサブスクリーンを設置予定)。川や水辺の全体の様子が分かるような風景写真を事前にお送りください(別項「応募の方法」参照)。
- 発表パネルは、プログラムの過程で各会場等に移動、展示し、発表、選考、投票等で使用します。

選考会 2 日目 (10/6・日)：復活選考および入選者発表会、全体選考等

- 2日目のスタートと同時に、前日のテーブル選考で選外となった発表団体を全体選考に追加推薦する目的で、パネルによるポスターセッション形式の復活選考を行ないます。選考は、選考員の投票によって行います。
- テーブル選考及び復活選考からの推薦団体を「入選」とし、全体会場のステージで発表します。ここでも 3 分間の発表時間(発表のみ)が与えられます。前日の発表の手ごたえや、議論の結果等を受けて、発表を変更するなど工夫してください。パワーポイント等は使用できますが、前日と同様、静止画で 3 点(枚)までとします。
- 全体選考は、コーディネーターによる進行のもと、発表した活動内容を絞り込むため、コメンテーターや会場とのやりとりによる公開討論会を行ないます。選考終了後、表彰式を行い、閉会となります。

◇ その他

- このワークショップの目的は、“いい川”のイメージを互いに共有することであり、開会から閉会までの2日間のフル参加を原則とします。交流懇親会は自由参加です
- 応募申込書(様式 1)とパネルの縮小版(様式 2)は、当日の選考用手元資料として冊子(A4 サイズ、モノクロ)にします。応募申込書に記入された個人情報については、主催者側で厳重に管理し、本大会に関わること以外の目的では使用いたしません。
- 1 日目終了後(5 日夜)は、1 日目の会場「ピアザ淡海(県民交流センター)」大会議室で交流懇親会を行います。ぜひご参加下さい(事前申込制、参加費:飲み物代込みで、大人 3,500 円、学生は半額程度を予定)。
- 市民の応募者で遠方の方には、旅費の一部補助を予定しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。行政、企業の方は自己負担にてお願いします。遠方の方など、チケット等のできるだけ早いご予約をおすすめします。
- 10/4(金)、10/5(土)の宿泊は、「アヤハ レークサイドホテル」の部屋(和室のみ、4~8 名で 1 室利用・朝食付、1 泊 ひとり 10/4 は 6,500 円、10/5 は 8,000 円)を事務局でまとめて予約しています。数に限りがありますので、お早めに下記事務局までお申込みください。別のタイプの部屋をご希望の場合は、大津市内などの宿泊施設を各自ご予約ください。早めのご予約をおすすめします！

☆初めての応募、行政や企業などの事業、取組みの応募、参加も歓迎しています！

※会場へのアクセス、宿泊等については、大会ホームページ等でもご案内します。詳細やご不明な点は、下記事務局までお気軽にお問い合わせください！

●応募・問い合わせ先：いい川・いい川づくり実行委員会事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14-301 NPO 全国水環境交流会
TEL: 03-3408-2466 FAX: 03-5772-1608 E-mail: kawanohi-2006@mizukan.or.jp
URL: <http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>

※過去の大会や関連する大会、エントリー団体も逐次紹介しています



「第 12 回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ in 滋賀・京都」は、公益財団法人 河川財団の 河川基金 河川基金の助成を受けています。